

梅だより

～午後のひととき～



読書の秋！ 本学の先生方に影響を受けた本、学生に奨めたい本を人間心理学科の松本真奈美先生、保育科の目黒恒夫先生に紹介していただきました。

松本真奈美先生 影響を受けた本(3冊)

① 沢木耕太郎『一瞬の夏』(新潮社)

いったい何人の日本人が、この本を読んで、ノンフィクションライターになるのを諦めたことだろう。責任とってちょうだい沢木様(笑)。1994年刊のペーパーバックで愛読していますが、どのあたりの頁にどんなフレーズがあるか、だいたい把握してま

② 須賀敦子『ヴェネツィアの宿』(文春文庫)

沢木様から須賀敦子へと、ふり返れば王道を歩んできた私。磨きぬかれた日本語と、知性が飛び跳ねているような、それでいて抑制のきいた文体は須賀敦子の独壇場。終章の「オリエント・エクスプレス」は、同じ人間のなせる業とも思えない。責任とってちょうだい須賀さん(笑)。

③ 清水義範『偽史日本伝』(集英社文庫)

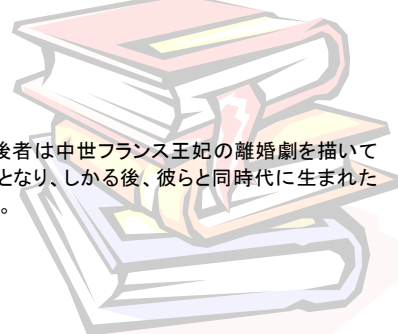
パステリーシュの名手清水義範が、日本史とがっすり四つに組んでくれました。この人にはまると、なまじのタレントのギャグがつまらなく思えてしまう、これまた何と罪作りな作家であろう。散々笑わせておいての「苦勞判官大變記(くろうはんがんだいへんき)」のラストは落涙必至。

松本真奈美先生 学生にすすめたい本(2冊)

① 熊谷達也『荒蝦夷(あらえみし)』(平凡社)

② 佐藤賢一『王妃の離婚』(集英社文庫)

いずれも東北在住の若手作家の代表作。前者は東北古代史の英雄アザマロ、後者は中世フランス王妃の離婚劇を描いてすこぶる秀逸。取材力、構成力、におい立つような文体に読後は一時妬心の塊となり、しかる後、彼らと同時代に生まれた幸せに酔いしれる。東北で学生をやっていて、彼らを読まないのは許さない(笑)。



目黒恒夫先生 学生にすすめる本 (5冊)

① 野田知佑『日本の川を旅する』(新潮文庫)

学生の時に読んだもの。カヌーでの川下りの紀行文である。素朴さ、茶目っ気さ、川の自然の破壊に対する怒り、その文体にどんどん引き込まれていった。悠々と自然の中に身をおき生活する姿が心地よい。忙しいときではなく、のんびりしたときに読むのがよい。

② ダーウィン『種の起源』(岩波書店)

学生の時にSFの延長で読んだもの。進化論や自然淘汰で有名であるが、それが生物学の領域だけでなく、人為選択として人間社会にも適用され社会ダーウィニズムの問題とつながることがわかったのはもっと後のこと。起源や根源という言葉は読む者の心をくすぐる。

③ ボルノー『実存哲学と教育学』(未来社)

実存哲学・実存主義に現れる人間存在の理解を、教育に取り入れて人間形成のひとつの面(教育の非連続的形式)を際立たせた本である。教育哲学は様々な学問分野にまたがっているが、そのような錯綜した中で学生時代の道筋を与えてくれた本である。

④ 澤田昭夫『論文の書き方』『論文のレトリック』(講談社学術文庫)

書き方の実用書は無数にあるが、この二冊の本は、問題提起の仕方、アウトラインの構成の仕方等、論理的構造的に書くことを知るうえで大変参考になる。資料収集や研究カードの作成については、20数年前の出版であるから古い面もあるが、論理的に書くということについては現在においても全く見劣りしない。

⑤ 廣川洋一『ギリシア人の教育—教養とは何か』(岩波新書)

表題にもあるように、教養とは何かを、古代ギリシアのプラトンとイソクラテスの哲学を通して問題にした本である。教養・教育が、今日一般教育科目や共通教育科目で開講され行われているような教養教育ではなかったこと、哲学本来の営みであったことが理解できる本である。

紹介いただいた図書は現在、購入処理中です！！

図書館・蔵書検索端末(OPAC)をもっと活用しましょう！

例えば 個人情報保護法について調べたい時に、いきなり Yahoo! Japan で検索しますか？
<個人情報保護取扱い従事者資格講座>の案内、等約 18 万件の情報が検出できましたが…

①本学図書館の蔵書検索端末のキーワード検索で“個人情報保護法”と入力してみましょう。

本学の図書館では 5 件=5 冊の図書を所蔵していることが判ります。

“もっとたくさんの文献があるはず！”と思ったら他大学や公立の図書館の所蔵を調べてみましょう。

本学図書館の蔵書検索・リンク集から大きなデータベースにアクセスします。

②国立情報学研究所(インターネットからは NII=GeNii) : タイトル、本文に“個人情報保護法“の字句が入っている
図書、雑誌、論文と所蔵する機関、データベースを検出===コピーで文献(有料)を取り寄せできます。
現物を本学図書館が貸出を受けることもできます。

③国立国会図書館(インターネットからは NDL—OPAC) : 書名中に“個人情報保護法“の字句が入っている図
書、雑誌を検出===コピーで文献(有料)を取り寄せたり、本学図書館 が貸出を受けることもできす。

④学都仙台オンライン目録(インターネットからは学都仙台 OPAC 横断検索) :

書名中に“個人情報保護法“の字句が入っている図書、雑誌(大学による)、を検出

===学生証を持って各大学図書館、県図書館へ行き閲覧、コピー依頼もできます。

*** URL の紹介 ***

①本学図書館 OPAC: <http://www.shokei.ac.jp/lib/>

②国立情報学研究所 GeNii: <http://ge.nii.ac.jp/genii/jsp/index.jsp>

③国立国会図書館 NDL—OPAC・一般資料の検索・詳細: <http://opac.ndl.go.jp/Process>

④学都仙台オンライン目録:<http://www.library.tohoku.ac.jp/multi-opac/>

図書館からの耳よりなお知らせ

その 1 無料のレファレンスツールを紹介します。 例えば 外食産業について調べたい時

URL: http://www.ndl.go.jp/jp/data/theme/theme_honbunn_102120.html

□内の数字はテーマによって変わります=NDLホームページ“テーマ別調べ案内”で確認！！

その 2 開館時間を午後 7 時まで延長しています！

その 3 希望図書箱に投函しましょう！ 小説は 1 人、年間 3 冊まで、勉強用は殆ど入れられます！